

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.23	1人1人の思いや暮らし方の希望・意向の把握 職員の理解不足	職員同士・利用者様とコミュニケーションをしっかりとリアセスメントし表面的な部分だけではなく内面的な部分も気づき思いを汲み取る	家族様からの聞き取り スタッフ同士が密にコミュニケーションをとり利用者様がふと言われた言葉などを情報として出し合う 顔の表情、身振り手振りから感情を読み取る	3ヶ月
2	No.43	排泄パターンの把握	個々に合った排泄パターンを理解し自立に向けた支援を行う	排泄表のチェックをし、排泄のパターンを掴みトイレ誘導などの時間を工夫する 自立されているかたでも排泄チェックを本人様に直接トイレ後すぐ確認する	3ヶ月
3	No.52	居心地の良い共用空間をつくること	家庭的な雰囲気の中で利用者様が居心地良く過ごせる場所づくりをする	不快や混乱を招くような刺激がないように配慮する 生活感や季節感を取り入れる(写真・イラスト・ポスター・なじみのものなど) 職員だけで話をせず利用者様を巻き込み会話を楽しむ 1階の保育園の園児と高齢者の交流を大切にする(似顔絵を描く・植物の成長を楽しむ)	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。